

今後のまちづくり

問 本市は、東海道と真ん中に位置している。この地理的条件を活かして物流拠点、基地としての構想を考えて、今まで以上に工業立地を進めたいかがか。

答 首都圏と関西圏の長距離運転によるドライバーの負担軽減を図るという中継拠点機能を持つ物流施設や、自動仕分け、自動ロボットなどの最新技術を取り入れた先進的な物流施設の誘致に取り組んでいきたい。

問 本市は、宿泊施設が少ない。このまま観光客の素通りのまちでよいのか、宿泊施設を考えているのか。

答 観光交流客が約460万人であることに對して、宿泊数は少ない状況である。本市を訪れる観光客が滞留できる取り組みを進めていくことが、今後の本市のために必要であるので、その支援体制をとっていききたい。

袋井市茶文化資料館に関して

問 松下コレクションを管理運営しているが、展示している場所が狭いので、拡張ができないか。

答 拡張については、今後、浅羽支所全体の中で調整をしていきたい。

問 資料館の土日開館を考えるべきではないか。

答 松下コレクションを活かす会の皆さまに、管理体制に協力をいただく中で、検討も進めていきたい。



松下コレクションの展示（浅羽支所3階）



浅羽佐喜太郎公記念碑（梅山・常林寺）

その他の質問項目

- ・道の駅の開設に努めてはいいか。
- ・新名物として考案された「袋井」の普及と、パクチャー生産が盛んであることへのPRは。
- ・浅羽佐喜太郎公記念碑建立100年を来年度迎えるにあたって、全国発信する絶好な機会をどう捉えるか。
- ・レイ小学校との今後の交流は。

傍聴のご案内

本会議や常任委員会などの会議は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

事前申込みは必要ありませんので、会議当日、市役所5階の議会事務局で受付を行い、傍聴席にお入りください。

なお、進行により予定を変更する場合がありますので、あらかじめ議会事務局へお問い合わせください。